

『持続可能性』を体験価値に

【三井デザインテック】

三井デザインテック（東京都中央区）は4月、特注家具の設計から再資源化までを一貫支援する業界初のサービス「CIRCULAR FURNITURE（サーキュラーファニチャー）」を本格始動した。この取り組みの狙いと、先行導入事例として2月1日にリニューアルオープンした三井ガーデンホテル札幌（札幌市中央区）のデザインを通じて、『持続可能性』を軸にしたホテルづくりの考え方と、その実践プロセスを紐解く。



デザインディレクター／グループ長
田中 映子氏

「サーキュラーファニチャー」とは、

田中 三井不動産グループは、街づくりにおける環境との共生宣言「& EARTH for Nature」に基づき、2050年のネット・ゼロ（再生可能エネルギーや省エネによる温室効果ガスの排出削減と、発生した温室効果ガスを植林・森林保全活動等で吸収・固定すること）で排出量を差し引きゼロにする（と）達成、および2030年までの温室効果ガス排出量40%削減を推進しています。

サーキュラーファニチャーは、当社・三井デザインテックが設計・施工する

現在、東証プライム市場に上

場する企業として「デザイン

責任」をつくる責任を果た

すべきとの考えのもと、& EARTH for Nature

の重点課題の一つ「自然資源を循環させる」を体现する事業モデルとして取り組むものです。

【CIRCULAR FURNITURE】
オフィスや宿泊施設向けの家具を対象に、再利用や分解がしやすい循環型設計を採用し、使用後は回収・再資源化へつなげる仕組みを構築する。設計・製造からCFP（製品カーボンフットプリント）の算出、DPP（デジタル製品パスポート）の実装、トレーサビリティ管理、回収・再資源化までを包括的に支援することで、家具のライフサイクル全体でCO2排出量削減を図る。
CFP算出はゼロック、DPP管理はdigglue、回収・資源循環はナカダイが連携して担い、三井不動産グループの環境ビジョン「& EARTH for Nature」を体现する事業モデルとして、持続可能な社会の実現を目指す。

工を担う企業として「デザイン

責任」をつくる責任を果た

すべきとの考えのもと、& EARTH for Nature

の重点課題の一つ「自然資源を循環させる」を体现する事業モデルとして取り組むものです。

再利用率は分解がしやすい

三井ガーデンホテル札幌の改装プロジェクト

「サーキュラーファニチャー」を開始した狙いは、

田中 資源の効率的な再利用と

廃棄物削減に取り組む、経済成長と環境負荷低減の両立を目指

す「サーキュラーエコノミー」への対応は、国内事業者にとって差し迫った課題になっています。

現在、東証プライム市場に上

場する企業として「デザイン

なる工程やコストが発生し、スケジュール遅延や合意形成の難航に繋がる可能性があることは事実です。ただ、国を挙げて循環型社会を推進する流れの中で、いずれは目を向けなければならぬこととも思います。

ホテルの建築・改装プロジェクトには、様々な属性の人たちが関わります。不動産所有者や投資者といったオーナーサイドもいますし、事業者サイドにも経営陣、開発・営業準備部門、運営責任者、マーケティング担当等がいます。それぞれの立場に寄り添いながら「サーキュラーエコノミー」に対応する意義を丁寧に言語化し、理解を得ることが大切だと考えています。

三井ガーデンホテル札幌の改装プロジェクトは、どのような流れで企画したのか。

田中 三井ガーデンホテルズのブランドコンセプト「Stay in the Garden」をベースに、「WELLNESS HARMONY」というデザインコンセプトを設定し、北海道札幌の自然や地域性を感じられる空間づくりを目指しました。

デザイン要素には「サステナビリティ」「ローカルカルチャー」「ビュアリテイ」等、5つのエレメントを設定し、それぞれを持続可能性と結びつけながら「滞在価値」として成立させることを重視しました。

客室は、一部の既存客室一つ一つにまとめた。田中 3名以上で宿泊可能な多数対応の客室タイプを増やしました。総客室数は改装前の216室から177室へ減少しましたが、インバウンドを中心としたグループ旅行者の宿泊需要に対応し、同伴係数の向上に伴う客室単価上昇が期待できます。室内には再生ペットボトル由来のファブリック、ホタテ貝殻を再利用した壁材、FSC認証ハンガー、再生樹脂製備品等を採用し、タイルカーペットの約8割をリサイクル材で構成する等、ゲストが直接触れる部分の多くに環境配慮素材を採用しました。客室においても部材を単一素材ごとに分解可能な設計を徹底し、将来的な再資源化に配慮しました。

プロジェクトでは様々な意見を交わしあった。田中 前例の少ない施工方法や

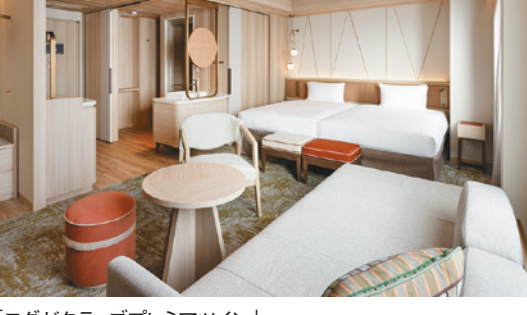
素材の導入を提案したため、プロジェクトメンバー内でも慎重に検討を進めました。丁寧にプロジェクトの意義を説明しながら、モックアップルームでの検証、材料試作を重ねて、実現に至りました。

何より私たちがサーキュラーファニチャー／サーキュラーインテリアを推進していかなければならないという強い思いを持っていましたが、今回は事業者の皆さんが、私たちの思いに早い段階からご理解下さったことが、プロジェクトを推進する原動力になりました。

三井ガーデンホテルズのブランドコンセプトが当社の取り組む軸になっていて、これを最後まで守り続けたことで、デザイン、素材選定、アート、施工、ブランド戦略までを一貫した思想で貫くことができました。このことが、単なるリニューアルプロジェクトではなく、持続可能なものを体験価値化したホテルとして完成させた要因になったと思います。

サーキュラーインテリアのコンセプトに基づいて採用された部材やデザインのひとつひとつに、数値的評価の裏付けや採用理由・経緯が伴っている。

田中 施設の価値を創るストーリーやコンセプトは、初期段階からプロジェクトの中心を支える軸になっていて、これを最後まで守り続けたことで、デザイン、素材選定、アート、施工、ブランド戦略までを一貫した思想で貫くことができました。このことが、単なるリニューアルプロジェクトではなく、持続可能なものを体験価値化したホテルとして完成させた要因になったと思います。



▲客室「エグゼクティブプレミアツイン」

(お問合せ)
三井デザインテック
MITSUI DESIGNTEC
三井デザインテック株式会社
〒104-0061 東京都中央区銀座6-17-1
銀座6丁目-SQUARE
TEL 03-6366-3131